

令和2年度進行管理・評価シート

亀山市歴史的風致維持向上計画（平成21年1月19日認定）

（最終変更 令和3年3月31日）

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)

1 「亀山市歴史まちづくり事業調整会議」の設置	1
-------------------------	---

②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)

1 景観行政団体への移行、亀山市景観計画の策定	2
-------------------------	---

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)

1 東海道街道環境整備事業(鈴鹿峠)	3
2 東海道街道環境整備事業(坂下宿)	4
3 東海道街道環境整備事業(太岡寺畷)	5
4 東海道街道環境整備事業(野村集落～野村一里塚)	6
5 明治天皇行在所整備事業	7
6 亀山城関連施設復原事業	8
7 歴史的風致形成建造物修理事業	9
8 旧田中家住宅保存整備事業	10
9 東海道関宿街道まつり	11
10 玉屋宿泊体験	12
11 亀山市納涼大会	13
12 亀山新能	14

④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)

1 歴史文化資産の調査・研究の充実と法令に基づく指定の推進	15
2 保護事業の推進	16
3 埋蔵文化財の保護	17
4 文化財の総合的な把握による普及・啓発の推進	18
5 文化財と一体となっている周辺環境の整備	19
6 市民・地域の参画による文化財を核としたまちづくりの推進	20

⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)

⑥その他(効果等)(様式1-6)

歴史まちづくりの効果	22
------------	----

口法定協議会等におけるコメントシート(様式4)

23

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和2年度
「亀山市歴史まちづくり事業調整会議」の設置		現在の状況
		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 全市をあげて歴史的風致の維持向上を図っていくために、「亀山市歴史まちづくり事業調整会議」の設置を行っている、事業担当部署間の横断的調整及び庁内合意形成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・第1期の事業成果、進捗管理と、第2期における事業調整を行った。
 ・単年度事業の事業調整については、事業調整担当G(都市整備課都市計画G・文化スポーツ課まちなみ文化財G)と事業実施Gとの間で、個別に調整を実施し、事業調整担当Gで進行管理を行った。
 ・計画期間内及び令和2年度の進行管理・評価については、事業調整担当Gと事業実施Gとの間で協議した後、亀山市歴史的風致維持向上計画協議会において意見聴取し評価を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	第2期計画における新しい事業実施体制を調整し、引き続き事業担当部署間の横断的調整、進行管理を行っていく。

状況を示す写真や資料等

■歴史まちづくりへの全庁的な取組体制

平成30・令和元年度・令和2年度

- 産業建設部
 - 都市整備課 都市計画G
 - 土木課 施設整備G
- 生活文化部
 - 文化スポーツ課 まちなみ文化財G
 - 文化スポーツ課 歴史博物館
 - 地域観光課 観光交流G
- 教育委員会
 - 生涯学習課 社会教育G
- 生活文化部
 - まちづくり協働課 地域まちづくりG
- 総合政策部

■亀山市歴史まちづくり事業調整会議



【撮影: 令和3年3月16日】

<開催日>

- ・令和2年6月5日
 - ・令和2年7月31日
 - ・令和2年8月13日
 - ・令和2年9月25日
 - ・令和2年11月24日
 - ・令和3年2月3日
 - ・令和3年3月16日
- 計7回開催
- <打合せの概要>
- ・進捗評価について

■亀山市歴史的風致維持向上計画協議会



【撮影: 令和3年1月22日】

<開催日>

- ・令和2年10月19日
- ・令和3年1月22日
- ・令和3年3月22日(書面開催) 計3回開催

<協議会の概要>

- ・亀山市歴史的風致維持向上計画第2期計画の策定について
- ・最終評価シートについて
- ・令和2年度進行管理・評価シートについて

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和2年度
		現在の状況

亀山市景観計画による良好な景観形成の推進

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容
 亀山市景観計画を策定し、市域全域を景観計画区域とした。景観計画区域のうち本計画に位置付けている重点区域については、景観形成推進地区及び景観重点地区の候補地とし、より積極的な景観形成基準等を定める地区とし、高さの規制を行う。さらに、景観形成推進地区及び景観重点地区において、良好な景観の形成が特に必要な地区は、地区住民の合意が得られるなどの条件が整い次第、景観地区や高度地区制度を活用する方針である。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・亀山市景観計画に基づく景観誘導を実施。重点地区内の2箇所(亀山城下町、関宿周辺)で、景観形成推進地区指定を行っている。
- ・平成23年より、計画に基づく届出事務を開始し、景観形成推進地区内では、平成23年度～令和元年度までで91件、令和2年度については6件の景観届出を審査し、申請者と意匠形態・色彩について詳細に協議を実施。
- ・屋外広告物のパトロールを平成24年度から毎月実施し、良好な景観形成の推進に取り組んだ結果、環境美化が進んだ。

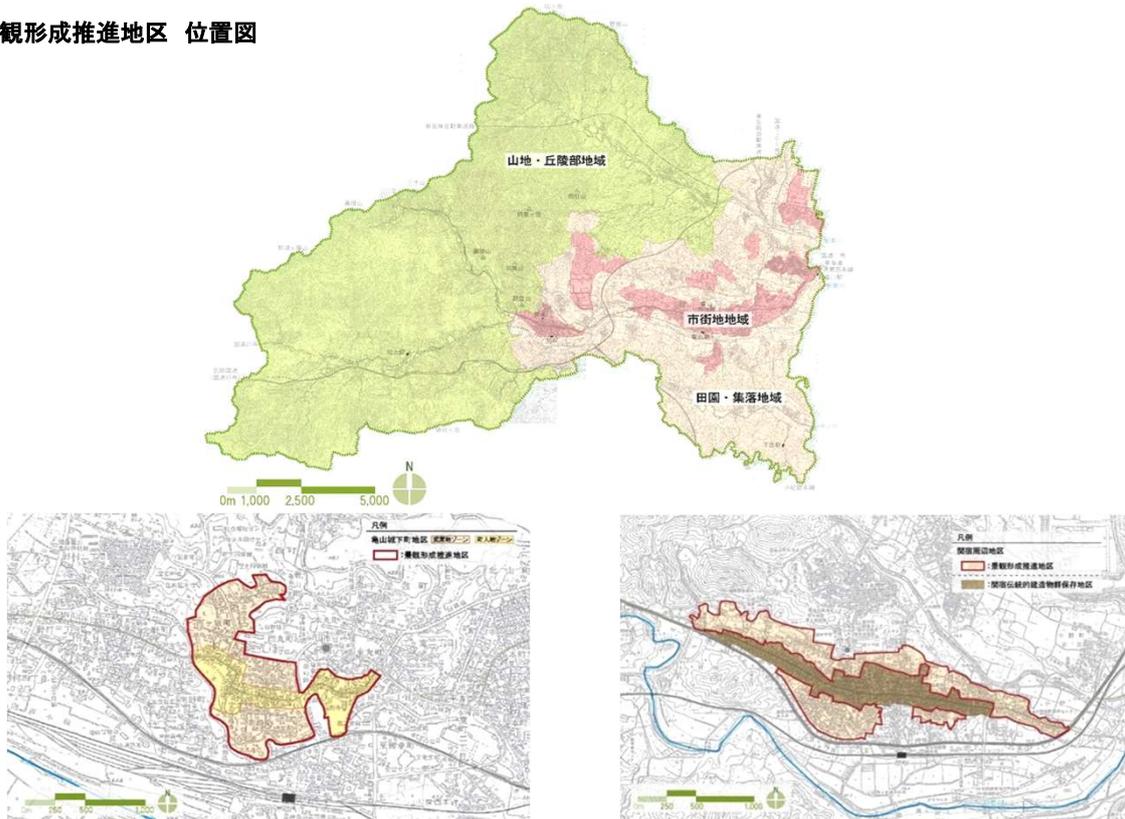
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

良好な景観形成に必要な歴史的建造物の減少が進んでいるため、新たな重点区域指定と基準策定、歴史的建造物の保存・維持の施策を推進する。

状況を示す写真や資料等

■景観形成推進地区 位置図



亀山城下町景観形成推進地区(上記地図の拡大)

関宿周辺景観形成推進地区(上記地図の拡大)



景観届出制度周知パンフレット(景観形成推進地区)

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
東海道街道環境整備事業(鈴鹿峠)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成27年度～令和2年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	東海道上の鈴鹿峠において、峠の茶屋跡・峠道など関連する遺跡を保存整備するとともに、案内標識・ベンチ・東屋等を設置して街道環境を整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・工事着手は遅延しているが、旧東海道全体の周辺環境等に調和した整備方針について、市関係部局で検討会を立ち上げ、整備内容の検討を実施。 ・来年度に東海道整備方針を策定し、事業計画に基づき事業実施していく。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		事業調整により整備が遅延したが、第2期計画で見直した事業計画を示し、計画に基づき整備事業を実施する。	

状況を示す写真や資料等

■鈴鹿峠状況



東海道上の鈴鹿峠について、舗装・防護柵等の設置工事を行うことで景観上の改善や良好な街道環境を保全することができる。

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
東海道街道環境整備事業(坂下宿)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成27年度～令和2年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	東海道上の坂下宿において、路面を美装化、案内標識・ベンチ・東屋を設置して街道環境を整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・工事着手は遅延しているが、旧東海道全体の周辺環境等に調和した整備方針について、市関係部局で検討会を立ち上げ、整備内容の検討を実施。 ・来年度に東海道整備方針を策定し、事業計画に基づき事業実施していく。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	事業調整により整備が遅延したが、第2期計画で見直した事業計画を示し、計画に基づき整備事業を実施する。		
状況を示す写真や資料等			

■坂下宿状況



東海道上の片山神社から市瀬間について、美装化を行うことで、景観上の改善や良好な街道環境を保全することができる。

評価軸③-3
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	

東海道街道環境整備事業(太岡寺駅)

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成26年度～令和2年度
 支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 東海道上の太岡寺駅において、路面を美装化するとともに、案内標識・ベンチ・東屋・植栽を設置し、街道環境を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・東海道太岡寺駅において、平成26～30年度に歩道を整備(延長約800m)。
- ・平成26～29年度に、地域住民と企業等との協働により、桜71本を植樹。
- ・当地域にて毎年開催される「桜まつり」については、コロナ禍のため、令和2年度は中止となった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

歩道整備、植樹等の整備工事については完了することができたが、路面の美装化等の整備が遅延している。
 今後は、第2期計画で見直した事業計画に基づき、整備事業を実施していく。

状況を示す写真や資料等

■太岡寺駅状況



路面の美装化を行うことで、景観上の改善や良好な街道環境を保全することができる。

■地域コミュニティによる活動状況



神辺地区コミュニティによる桜まつりの実施 平成31年4月7日実施【撮影:平成31年4月】

評価軸③-4 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
東海道街道環境整備事業(野村集落～野村一里塚)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～令和2年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	東海道上の野村集落において、路面を美装化するとともに、案内標識・ベンチ・東屋を設置し、街道環境を整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・工事着手は遅延しているが、旧東海道全体の周辺環境等に調和した整備方針について、市関係部局で検討会を立ち上げ、整備内容の検討を実施。 ・来年度に東海道整備方針を策定し、事業計画に基づき事業実施していく。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		事業調整により整備が遅延したが、第2期計画で見直した事業計画を示し、計画に基づき整備事業を実施する。	
状況を示す写真や資料等			

■野村一里塚状況



路面の美装化を行うことで、景観上の改善や良好な街道環境を保全することができる。

■野村集落状況



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	

明治天皇行在所整備事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成24年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容

「明治天皇行在所」(歴史的風致形成建造物指定予定)を復原・修理(耐震化を含む)する。当該建造物については、数度の移築がされた経緯、「心形刀流」の伝承活動に使用されている点、周辺の文化財及び回遊路などの整備状況を考慮して、保存・活用に適した場所への移築を検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・地震により崩落した石垣の復旧・復原に伴い、明治天皇行在所の移築を平成23年に行った。
- ・復原・修理事業については、事業調整により工事着手が遅延している。

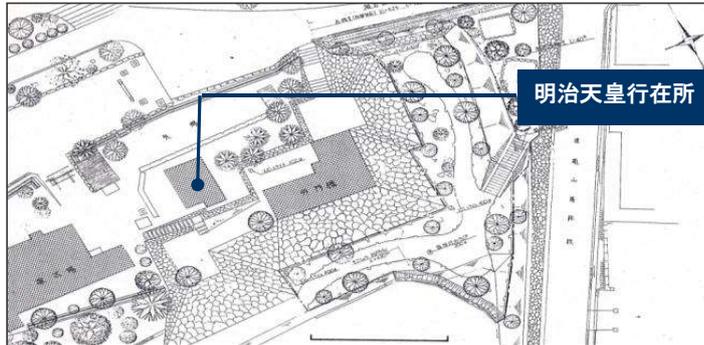
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

事業調整により復原・修理については遅延したが、第2期計画で見直した事業計画を示し、計画に基づき整備事業を実施する。

状況を示す写真や資料等



【撮影：平成22年10月】

石垣工事に伴い明治天皇行在所を移設し、見学者用広場が創出された。

評価軸③-6 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
亀山城関連施設復原事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成21年度～令和2年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	旧亀山城内(亀山公園)、及び東海道上の、亀山城に関連する「亀山城本丸三重櫓」、「京口門」、「外堀」(歴史的風致形成建造物指定予定)等について、文化財調査に基づき復原・遺構復原展示を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・亀山城二ノ丸帯曲輪の整備については、平成17年に完了。 ・亀山城西之丸外堀整備については、平成23年に完了。 ・京口門及び周辺整備については、事業内容の再検討、事業調整により遅延した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		未実施の京口門及び周辺整備については、事業内容を見直し、第2期計画で事業計画を示した。今後は計画に基づき整備事業を実施する。	
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>■京口門と京口坂(古写真)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>■京口門周辺の現況</p> </div> </div> <p>亀山城京口門は、亀山城の西の入り口に当たり、東海道上にあった。安藤広重の「東海道五十三次」浮世絵に描かれた亀山宿の風景は(「雪晴」)は、雪の日に京口門に向かう坂道を登る大名行列を描いたものである。現在櫓などは取り壊されており、坂の部分には樹木が生い茂っており、さらに隣接して道路橋がかけられている。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>■亀山城二ノ丸帯曲輪</p> </div> <p>亀山城二ノ丸帯曲輪は、隣接する亀山西小学校改築に伴う発掘調査により、その遺構が確認され、土居及び土塚の一部が復原された。</p>			

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	

歴史的風致形成建造物修理事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成26年度～令和2年度
 支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 民間所有の歴史的風致形成建造物に指定した建造物について、その修理に対し補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・今年度の事業実績は無(参考実績)
- ・片山神社周辺の建築物等の復原修理に補助金交付(平成26年度)
- ・福泉寺山門の復原修理に補助金交付(平成27～29年度)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

民間所有建築物への補助事業のため、制度内容の周知と、積極的な活用について、啓発していく。
 また、需要による制度の見直しを適宜図り、活用を促進させる。

状況を示す写真や資料等

■市史跡「片山神社」境内の復原整備工事



■工事着工前【撮影：平成26年12月】



■工事完了【撮影：平成27年3月】

■市指定文化財「福泉寺山門」修理工事



■工事着工前【撮影：平成29年7月】



■工事完成【撮影：平成30年3月】

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	

旧田中家住宅保存整備事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 令和元年度～令和2年度
 支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 「旧田中家住宅」(歴史的風致形成建造物指定予定)を公開施設として整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・令和元年度に計画通りに土蔵の一部修理(建起こし等)を実施している。
- ・今年度で、土蔵と文庫蔵の修理工事を予定通り完了した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

施設公開にあたっては主屋の必要な修繕事業が残されており、来年度に実施予定である。また、主屋の修繕事業後の公開・管理についての検討も合わせて行っていく。

状況を示す写真や資料等

■旧田中家住宅土蔵



■工事着工前【撮影：令和2年6月】



■工事完成【撮影：令和3年2月】



■旧田中家住宅文庫蔵



■工事着工前【撮影：令和2年6月】



■工事完成【撮影：令和3年2月】



評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度
玉屋宿泊体験		現在の状況
		<input type="checkbox"/> 実施済
		<input checked="" type="checkbox"/> 実施中
		<input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成9年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 重要伝統的建造物群保存地区・関宿内にある関宿旅籠玉屋歴史資料館(市指定文化財建造物)において、小学校高学年を対象とした宿泊体験学習会。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・毎年開催される「玉屋宿泊体験」については、コロナ禍のため、令和2年度は中止となった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

さらなる玉屋宿泊体験の内容の充実が課題で、歴史的建造物等の保存継承における次世代の担い手を育成する。また、重要伝統的建造物群保存地区・関宿内にある関宿旅籠玉屋歴史資料館(市指定有形文化財(建造物))の活用をさらに進める。

状況を示す写真や資料等

■玉屋宿泊体験



かまど体験【撮影:令和元年8月】



朗読【撮影:令和元年8月】

評価軸③-11 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	

亀山市納涼大会(葛葉太鼓、灯おどり)	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------------------	---

事業期間 平成4年度～
 支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 伝統文化の発表「葛葉太鼓」(葛葉太鼓保存会)、「灯おどり」(灯おどり保存会)

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・毎年開催される「亀山市納涼大会(葛葉太鼓、灯おどり)」については、コロナ禍のため、令和2年度は中止となった。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	担い手の育成が課題であり、亀山市納涼大会における各種地域伝統芸能(灯おどり、葛葉太鼓等)の発表により担い手の育成が図るとともに、周辺の歴史的建造物の普及・啓発につなげる。
--	---

状況を示す写真や資料等

■亀山市納涼大会(葛葉太鼓、灯おどり)



葛葉太鼓(葛葉太鼓保存会)【撮影:令和元年8月】



灯おどり(灯おどり保存会、市民総おどり)【撮影:令和元年8月】

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度
亀山薪能		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成4年度～
 支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 亀山城多門櫓(県指定史跡)を背景とした薪能の開催

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・文化年事業として開催される予定であった「亀山薪能」については、コロナ禍のため、令和2年度は中止となった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

様々な世代の人々が伝統芸能に触れる機会をより多くするため、さらに広報等による集客を行い、あわせて亀山城多門櫓(県指定史跡)のさらなる活用を進める。

状況を示す写真や資料等

■亀山薪能

開催日:平成27年8月29日



薪能【撮影:平成27年8月】



薪能【撮影:平成27年8月】

評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
歴史文化資産の調査・研究の充実と法令に基づく指定の推進		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	地域の貴重な歴史文化資産を発見し適切に保護できるよう、文化財の調査・研究の充実につとめ、特に重要な歴史文化資産については、法令にもとづく文化財としての指定を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・重点区域内において、文化財の指定を進めた。指定等にはいたっていないが調査(1件)を行っている。 【重点区域内における文化財指定等された歴史的建造物の追加数】 平成20年度の第1期計画策定時点においては、国登録(1件)・県指定(1件)・市指定(8件)であったが、昨年度までに国登録(2件)・県指定(3件)・市指定(5件)の追加があり、さらに令和2年度には、「鈴鹿関跡」が国指定史跡に追加された。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		市内に未調査の歴史文化資産がまだ多く残されていることが課題であり、重要な歴史文化資産については条例にもとづく文化財としての指定を進める。	
状況を示す写真や資料等			



国の史跡 鈴鹿関跡

評価軸④-2

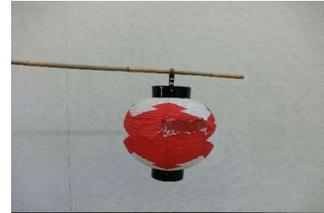
文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
保護事業の推進		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	歴史文化資産を適切に管理し、また積極的に保存・活用を図るためには、必要に応じて保護事業を進める必要がある(維持・管理、修理・修復、公有化等、防災)。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史まちづくり事業と連携して、文化財を適切に保存・活用するため次の事業を実施した。 ・文化財の修理等に対する支援:市指定有形民俗文化財「山車」(中町三番町、中町四番町)の用具の新調・修理。市指定無形民俗文化財「阿野田羯鼓踊」(阿野田町羯鼓踊保存会)の用具の修理。県指定無形民俗文化財「加太のかんこ踊り」(向井盆踊り保存会)の用具の修理。 ・毎年開催される「文化財防火デー消防訓練」については、コロナ禍のため、令和2年度は中止となった。 ・文化財防火デーにあわせて、有形文化財所有者及び管理者に対し、文書で火災についての注意喚起と防火活動の啓発を行った。 ・市公共事業に対する文化財保護として、市関係各部署に事業照会し文化財保護協議を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	既存活動の活性化が課題となっており、所有者・管理者等が実施する修理・修復について、適切な手続きや技術の指導を行う。また、多額の費用を要するものについては財政的な支援をあわせて行う。		

状況を示す写真や資料等

■文化財の修理等に対する支援

●文化財保護事業 中町三番町自治会



■山車用提灯新調・修理
【撮影: 令和2年11月】

●文化財保護事業 中町四番町自治会



■山車用提灯新調
【撮影: 令和2年11月】

●文化財保護事業 阿野田町羯鼓踊保存会



■阿野田町羯鼓踊用提灯修理
【撮影: 令和2年5月】

●文化財保護事業 向井盆踊り保存会



■加太のかんこ踊り用大太鼓修理
【撮影: 令和2年4月】

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
埋蔵文化財の保護		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	<p>市内における周知の埋蔵文化財包蔵地は、旧亀山市域で357遺跡、旧関町域で47遺跡あったが、平成17～20年度で、国庫補助事業により旧関町域において遺跡詳細分布調査事業を実施し、50遺跡を追加して454遺跡となった。</p> <p>旧関町域については、近世の遺跡を含む周知の埋蔵文化財包蔵地の把握を行ったところであるが、旧亀山市域については近世の遺跡は「亀山城跡」など一部を把握するにとどまっており、今後現地踏査、文献史料調査等により確認を進め追加していく。</p> <p>また、文化財の保存・活用に当たっては、当該文化財が所在する地点の埋蔵文化財の状況を把握した上で、その保護に十分留意するものとする。このことは、当該文化財の周辺に所在する、時代や性格等の上で一連の遺跡についても同様とする。</p> <p>開発行為にあたっては、周知の埋蔵文化財包蔵地については試掘調査を実施したうえで、必要に応じて発掘調査を実施する。また、周知の埋蔵文化財包蔵地以外についても、開発担当部局、及び事業者との事前協議を実施し、必要に応じて試掘調査を行うなど、開発行為と文化財保護との整合につとめる。協議にあたっては、三重県教育委員会との連絡調整を図るとともに、必要な指導を受ける。</p> <p>なお、市内における周知の埋蔵文化財包蔵地については、各事業に関連した位置図中に示した。</p>		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>・埋蔵文化財の保護として、平成18年度から継続して鈴鹿関跡範囲確認調査(発掘調査・現地測量調査)を実施している。平成26年度までの調査成果をまとめた調査報告書を平成27年度に作成・刊行した。平成30年度・令和元年度は発掘調査を行い築地塀の痕跡と考えられる瓦溜まりを確認した。引き続き、鈴鹿関跡の学術的価値を明らかにするために発掘調査や現地地形測量調査等を行う。これらの調査の成果をもって、国史跡指定を目指す。</p> <p>現地測量調査面積：H18年度3,800㎡・H19年度6,000㎡・H21年度4,300㎡・H22年度5,200㎡・H23年度5,200㎡・H24年度9,000㎡・H25年度6,000㎡・H26年度6,000㎡・H28年度1,000㎡・H29年度400㎡・H30実績なし・令和元年度実績なし・令和2年度1,200㎡</p> <p>・市公共事業に対する文化財保護として、市関係各課に事業照会し文化財保護協議を実施。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	<p>鈴鹿関跡については、全体像が明らかにされておらず管理や活用の方針が十分に検討できていない。また、その他の遺産についても未調査の部分が多く見られるという課題がある。今後は、鈴鹿関跡範囲確認調査を継続して実施し、中心部と東外郭線の有無について調べ、保存管理計画の策定や計画に基づいた整備を実施する。また、その他の遺産についても調査を実施し、市域の歴史や文化の解明を進める。</p>		
状況を示す写真や資料等			
<p>■埋蔵文化財の保護</p> <p>埋蔵文化財(鈴鹿関跡)発掘調査</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			
鈴鹿関跡発掘調査状況【亀山市関町新所、撮影：令和2年1月】			

評価軸④-4 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
文化財の総合的な把握による普及・啓発の推進		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	有形・無形の文化財を、歴史的関連性や地域的関連性などに基づいて、相互に関連性のある一定のまとまり（「関連文化財群」）としてとらえ、これらをつなぐ物語を創造する。これにより、より多くの人々が文化財の価値に気づき、資産として活用しやすくする。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財の価値を再認識するため、文化財を活用した普及啓発活動を行った。 ・歴史博物館による市内小中学校等への出前展示等：計15校 ・旧亀山城多門櫓周辺の文化財説明会を開催：随時			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財の保存と活用を進めることで市民が文化財に触れる機会を充実していくことが課題であり、今後も市民が文化財を核とした地域のまちづくり活動に参加することができるよう施策の展開を図っていく。		
状況を示す写真や資料等			

■歴史博物館による市内小中学校及び地域への出前展示等



亀山市立川崎小学校
3年生 出前授業
【撮影：令和2年6月12日】



亀山市立亀山西小学校
4年生 出前授業
【撮影：令和3年1月14日】

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度
----	--------	-------

文化財と一体となっている周辺環境の整備

- 現在の状況
 実施済
 実施中
 未着手

計画に記載している内容

関連文化財群により、文化財等が一定の範囲に集中する場合には、文化財等と一体となって価値を成す周辺の環境まで含め、亀山市景観計画を通じ、文化財の周辺環境の保全を図る。見学者の利便とともに地域住民との交流が行えるよう、適切な場所を選んで駐車場や案内板・説明板、トイレ等を整備する。また、文化財がよりよく望むことができる眺望のポイントの整備や、文化財の周囲における官民両空間における景観整備などにより、文化財が周辺の環境と一体となっていることが意識されるよう努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成20年度の第1期計画策定時点から毎年文化財説明板の設置を行っており、昨年度までに36ヶ所に設置している。令和2年度においても未指定文化財に説明板を設置(1ヶ所)した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

安全に散策できる環境や拠点への適切な誘導などの来訪者への環境整備が不足しているという課題があるので、これらを整備し利便性を高め、拠点への適切な誘導を促進し、歴史的建造物及び拠点施設の活用を推進していく。
 状況を示す写真や資料等

■文化財説明看板設置

海善寺本堂の玄関 (亀山藩主石川家老加藤家の屋敷玄関)



■工事着工前【撮影：令和3年2月】



■工事完成【撮影：令和3年3月】

評価軸④-6 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
市民・地域の参画による文化財を核としたまちづくりの推進		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	<p>文化財の保存及び活用は、人々に文化財と触れる「きっかけ」や、文化財に関わる様々な活動の契機を提供することとなる。文化財の保存と活用を進めることにより、市民が文化財に触れる機会を充実するとともに、市民が文化財を核とした地域のまちづくり活動に参加することができるよう、施策の展開を図っていく。また、文化財に触れる機会や、文化財を核としたまちづくり活動を介して、人々の交流が進められるよう積極的な施策の展開を図る。</p>		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>文化財を核とした様々なまちづくり活動を実施した。</p> <p>◆市民・地域が中心となった歴史的建造物を活用したイベント等の開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元住民が中心となって旧館家住宅と旧木村邸でひな飾りを展示した。 開催期間:令和3年2月13日～3月6日 来場者数:旧館家 454名 旧木村邸 1,546名 <p>◆重点区域内での様々なまちづくり活動の波及効果として、重点区域外で文化財を核としたまちづくり活動が行われている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年開催される「金王道ウォーキング」については、コロナ禍のため、令和2年度は中止となった。 			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	<p>文化財の保存と活用を進めることで市民が文化財に触れる機会を充実していくことが課題であり、今後も市民が文化財を核とした地域のまちづくり活動に参加することができるよう施策の展開を図っていく。</p> <p style="text-align: center;">状況を示す写真や資料等</p> <p>●市民・地域が中心となった歴史的建造物を活用したイベント</p> <p>■北海道のおひなさま(亀山市観光協会主催)</p>		
			
<p>旧館家住宅(市指定建造物・歴史的風致形成建造物)でのひなまつり。地元市民が中心となってひな飾りを展示した。【撮影:令和3年3月】</p>		<p>旧木村邸(歴史的風致形成建造物)でのひなまつり。地元市民が中心となって雛飾りを展示した。【撮影:令和3年3月】</p>	

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	令和2年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
ひな人形、亀山宿・関宿を春色に染める 6日まで	令和3年3月3日	中日新聞	
宿場町華やかに ひな人形出迎え 亀山	令和3年3月1日	毎日新聞	
亀山 ひな人形を巡り楽しんで 13日から95カ所で開催	令和3年2月7日	伊勢新聞	
関宿で家族記念写真を 結婚式の前撮りや七五三 亀山市など無料サポート	令和3年2月6日	伊勢新聞	
亀山市歴史博物館 明治から昭和の道具30点 小学校の授業に合わせ企画展	令和3年2月5日	伊勢新聞	
関宿で記念撮影を 亀山市観光協、施設利用など無料に	令和3年1月29日	中日新聞	
文化審査申 鈴鹿関跡、国史跡へ 要衝解明に評価	令和2年12月9日	毎日新聞	
日本書紀編さん、1300年記念展 日本武尊、亀山にゆかり 市歴史博物館 埴輪など80点	令和2年11月30日	毎日新聞	
鈴鹿関跡、全容解明進める 史跡指定受け亀山市長	令和2年11月21日	伊勢新聞	
亀山の鈴鹿関跡が国史跡に 県内では約10年ぶり、文化審査申	令和2年11月21日	中日新聞	
歴史文化遺産巡ろう 亀山・野村地区で8日、スタンプラリー	令和2年11月5日	中日新聞	
ヤマトタケルの人物像に迫る 亀山市歴史博物館で講演会、日本書紀に基づき	令和2年10月4日	伊勢新聞	
日本書紀編さん1300年 亀山で日本武尊の物語をテーマにした企画展	令和2年9月25日	中日新聞	
大型絵本「ヤマトタケル」読み聞かせ 亀山市歴史博物館で上演	令和2年9月21日	伊勢新聞	
ヤマトタケル紹介企画展 亀山市歴史博物館	令和2年9月20日	伊勢新聞	
亀山トリエンナーレ、来年秋の日程を変更 10月10日～11月6日	令和2年9月9日	中日新聞	
刀身や鞍など20点 亀山市歴史博物館の常設展一部入れ替え	令和2年8月16日	伊勢新聞	
武士の暮らし、刀や馬具で紹介 亀山市歴史博物館、一部展示物入れ替え	令和2年8月15日	中日新聞	
亀山列車銃撃75年 追悼法要 「忘れたこと一度もない」	令和2年8月3日	毎日新聞	
米軍機列車銃撃の犠牲者悼む 亀山で慰霊祭	令和2年8月3日	中日新聞	
下校中に亀山列車銃撃、記憶たどり文章に 津の伊川さん	令和2年8月2日	中日新聞	
亀山の列車銃撃、犠牲者追悼法要 8月2日・終戦75年	令和2年7月27日	毎日新聞	
新型コロナ トリエンナーレ、21年に開催延期 亀山	令和2年5月19日	毎日新聞	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「鈴鹿関跡」が国の史跡に指定となったことが、多くの新聞等で報道され、市民に対して十分な周知がはかれた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし		今年度についてはコロナ禍のため、中止となったイベントが多く新聞報道等も例年に比べ少なかったが、引き続き報道等を通じて、市民に向けて文化財についての情報発信を行っていく。	
状況を示す写真や資料等			

評価軸⑥-1
その他(効果等)

	評価対象年度	令和2年度
--	--------	-------

項目

歴史まちづくりの効果

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

・亀山城周辺歴史的公開施設来場者数の推移
 亀山城多門櫓を軸とし、亀山城周辺の施設等の面的な整備を行ったことにより、公開施設の回遊性が向上し、来場者数の増加に繋がった。平成29年度はトリエンナーレの影響で来場者数が増えたが、平成30年度、令和元年度は例年並みとなった。
 ・住民意識の向上(アンケート結果による)
 町並み保存に対する住民意識と観光地の魅力・観光施設の整備満足度についてはほぼ横ばいである。

進捗状況 ※計画年次との対応

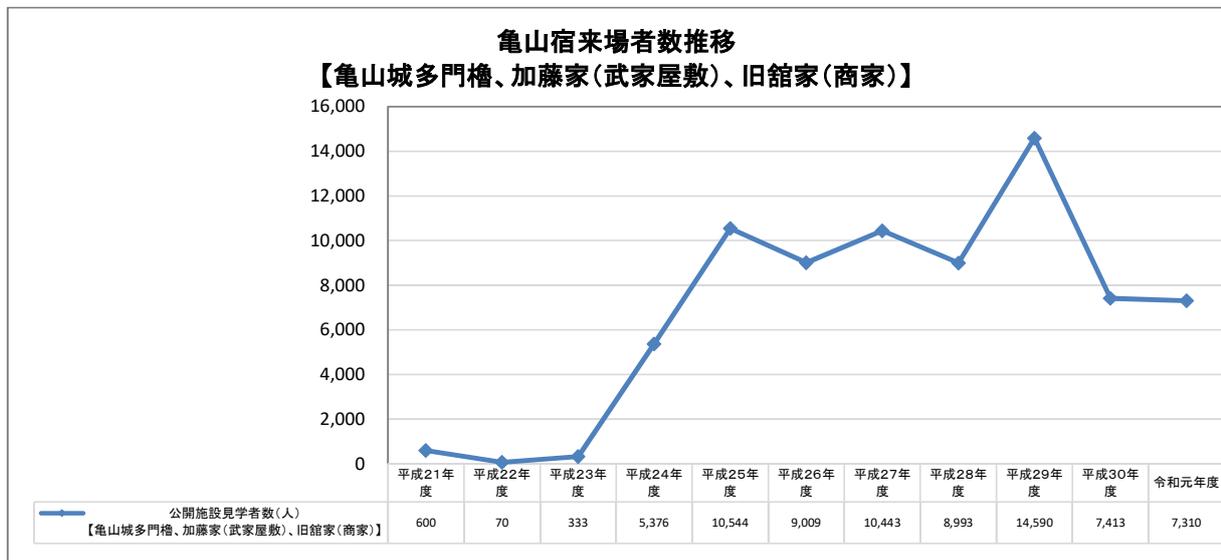
実施にあたっての課題(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

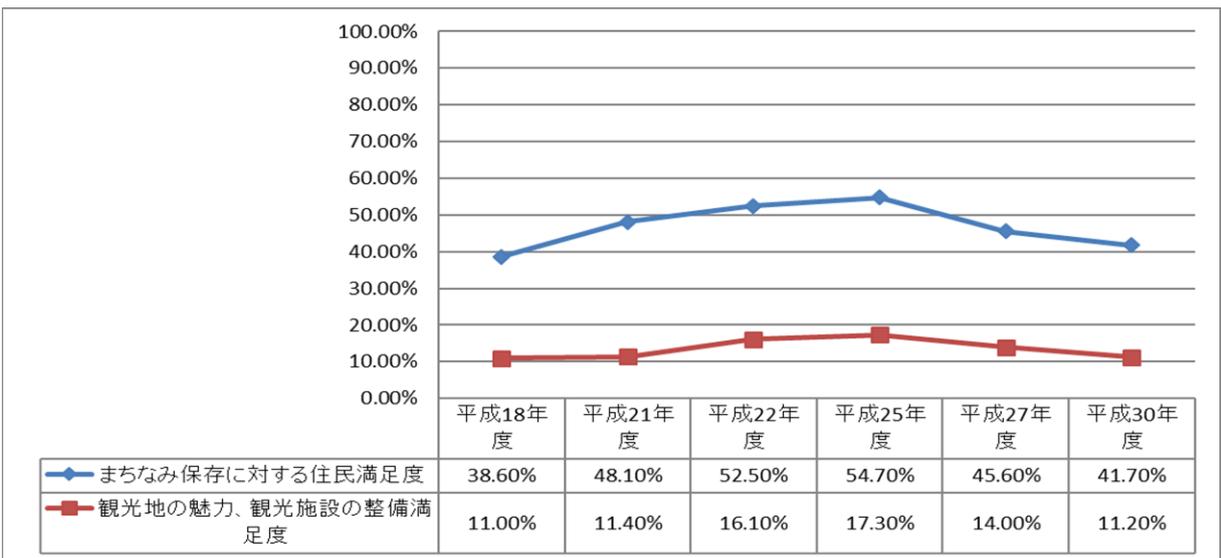
安全に散策できる環境や拠点への適切な誘導などの来訪者への環境整備が不足していることに加え、依然として町並みと不調和な建築物や工作物が存在しているという課題がある。

状況を示す写真や資料等

■亀山城周辺歴史的公開施設来場者数の推移



■住民意識の向上(アンケート結果による)



法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和2年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 亀山市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 令和3年3月22日	
(コメントの概要)	
<p>●協議会意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財説明看板の設置工事を毎年しているが、その文化財へ行くまでの案内板や誘導看板も必要ではないか。設置箇所について検討していただきたい。 ・これまで山車会館、旧田中家住宅などの施設の整備については、計画を活用し上手く進めることができている。また、庁内体制も整っている点は評価できる。 ・自治体所有の文化財建造物の整備は進んでいるが、民間所有の文化財建造物の整備についても積極的に事業として進めてほしい。 ・個々の拠点となる整備が進む中で、今後はさらに拠点間の整備や線的・面的なネットワークについても検討し、全体の事業計画に基づき進めていってほしい。 ・これまでに実施していない事業に対して実施手法の精査をされたい。 ・事業を通じて、市民の歴史文化の意識が醸成していくよう努力されたい。 	
(今後の対応方針)	
<ul style="list-style-type: none"> ・現状の東海道を評価したうえで、亀山市の歴史的風致の軸として相応しい整備の方針を検討していただきたい。 ・第2期計画における方針に基づいて、引き続き歴史まちづくりの推進に取り組んでいただきたい。 	